

第2回常任理事会報告

日 時 令和4年1月25日（火）午後2時～同2時50分

オンライン（Zoom）開催

出席者 <会 長> 住友雅人

<副 会 長> 松村英雄、川口陽子

<総務理事> 小林隆太郎

<常任理事> 尾松素樹、津田勝則、石井信之、弘中祥司、
井上富雄、鄭 漢忠、牧 憲司、小方頼昌、
水口俊介、秋山仁志、宮崎 隆

欠席者 <常任理事> 天野敦雄

※小林総務理事のみ、来館出席

[議長 小林総務理事]

1. 開 会

松村副会長から、開会の辞。

2. 挨拶

住友会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 会務報告

(1) 一般会務報告

小林総務理事から、次の資料に基づき報告。

一般会務報告（令和3年12月18日～令和4年1月24日）

第1回常任理事会報告（令和3年12月21日開催）

2) 会計現況報告

本常任理事会での説明は省略、本日午後3時30分から開催の第2回理事会にて津田常任理事から説明予定である旨が伝えられた。

3) 令和4年度診療報酬改定に向けた医療技術の評価(案)について

小林総務理事から、令和4年度診療報酬改定に向けて日本歯科医学会分科会より提出された84件の医療技術評価提案書に対する第511回中央社会保険医療協議会総会(令和4年1月19日開催)の評価結果について報告。「診療報酬改定において対応する優先度が高い技術」は17件、「今回改定では対応を行わない技術」は56件、「学会等から医療技術評価分科会に提案書の提出のあった技術のうち、医療技術評価分科会における評価の対象にならないもの」は11件であった。提案書を提出する段階では薬事承認がとれていなくてもよいが、8月末の中医協での審議開始前までには承認取得がなされていることが前提にある。今回それができていない提案書が散見された。

平成28年度改定以降、収載率50%、多い年には40件の提案書が収載されていた。今回は医科、歯科含めて財源の問題もあり低迷したとのことである。厚労省関係者と日本歯科医師会の先生方と協議、分析の上、今後につなげたいとの説明があった。

4. 議 題

1) 専門・認定分科会資格審査委員会報告の取り扱い(認定分科会登録申請学会)について

川口副会長から、専門・認定分科会資格審査委員会の「認定分科会登録申請学会の資格審査について(答申)」について概要説明がなされた。今回の審査は、認定分科会への登録申請があった3学会(日本顕微鏡歯科学会、日本臨床歯科学会、日本デジタル歯科学会)について、承認基準に基づいて行われている。

各学会の申請内容に関する意見交換の後、小林総務理事から、第2回理事会において、認定分科会登録申請学会の登録可否について全理事による無記名投票による採決を行うことが提案され、全会これを承認した。

2) 日本歯科医学会専門分科会資格更新取扱い内規の制定について

川口副会長から、表題を基準ではなく内規として制定することについて説明がなされ、第2回理事会に提案することが承認された。

3) 日本歯科医学会認定分科会資格更新取扱い内規の制定について

川口副会長から、表題を基準ではなく内規として制定することについて説明がなされ、第2回理事会に提案することが承認された。

4) 第 107 回評議員会の開催（議案）について

小林総務理事から以下の議案について、第 2 回理事会で審議の上で確定することを提案、全会これを承認した。

- 第 1 号議案 認定分科会への登録に関する件
- 第 2 号議案 日本歯科医学会規程の一部改正
- 第 3 号議案 令和 4 年度日本歯科医学会事業計画
- 第 4 号議案 日本歯科医学会専門分科会承認基準の一部改正
- 第 5 号議案 日本歯科医学会認定分科会承認基準の一部改正
- 第 6 号議案 日本歯科医学会会長賞授賞基準の一部改正

主な変更は以下の 2 点である。

- ・スケジュールについて、推薦の締め切りを 7 月末日から 9 月末日に変更する。
- ・「日本歯科医学会への貢献」に関する文言を明文化する。

5) 第 107 回評議員会の運営について

小林総務理事から、タイムスケジュール、採決方法を Zoom ミーティングの投票機能を使用することについて、第 2 回理事会に提案することが承認された。

6) 令和 4 年度諸会議開催予定について

小林総務理事から、令和 4 年度諸会議開催予定の確認がなされ、第 2 回理事会に提案することが承認された。

5. 閉 会

川口副会長から、閉会の辞。